

春近き鳳凰堂の戸の如来

熊鈴の子の残雪を上りけり

地球儀を作る工場春の風

受験へと行く自転車のギアを6

春雲は脳なりものを思いけり

階乗のように白話草広く

自分のみ知る石鹼玉しやぼんだま割れし音

春雨やトロンプルイユめいて街

よくポカリ買う吹部の子卒業す

アフリカの神の目力春熱し

光背のある梅のみの留まりぬ

金剛の犬のよだれの青芝へ

春光を乱反射して歌舞伎揚げ

雪解水殺生石もじの基通る

光背

法音院大會